# 当院でワクチンを接種される方へ



## ～その他の接種忘れはありませんか?～

はじめに、ワクチンには **定期接種**（自治体からの補助があるもので接種を強く勧めるもの）と **任意接種**（自費で自主的に接種するもの）の **2種類** があります。

## 1 季節性インフルエンザ



例年12月から3月に流行することが多いですが、近年はピークが前倒しになることも見られます。特に高齢者や基礎疾患がある人では重い合併症が現れることがありますのでワクチン接種は重要です。
**有効率は約60%で、入院のリスクを1/3、死亡リスクを1/5に減らす**ことができるとされています。可能であれば **12月中旬までに、打てるときに**早めに接種しましょう。

- **定期接種対象者**：65歳以上の方
  （60歳以上でも身体障害者1級相当の障害を有する場合は可）
- **定期接種期間**：令和8年9月18日～令和9年1月31日まで

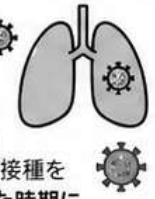
## 2 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）



近年では、以前のパンデミックの時期ほどの流行は見られていませんが、2023年以降は夏や冬に患者さんが増加する傾向にあります。現在はリスクの低い方であれば自然に軽快することが多いですが、
**高齢者や基礎疾患がある人では肺炎など症状が重くなる**ことがあり、定期接種が勧められています。

- **定期接種対象者**：65歳以上の方
  （60歳以上でも身体障害者1級相当の障害を有する場合は可）
- **定期接種期間**：令和8年10月1日～令和9年3月31日まで

## 3 肺炎球菌



肺炎球菌は、咳やくしゃみを通じて感染し、重症化すると肺炎や敗血症など重い合併症を起こすことがある菌です。**肺炎全体の原因の約20%が肺炎球菌**であるとされており、肺炎球菌をワクチンで予防することはとても重要です。また、定期接種を行っていても、既にワクチン効果が切れていることがありますので、**前回接種した時期によっては任意接種での追加接種が勧められています。**

- **定期接種対象者**：年度内に65歳を迎える方（60歳以上でも身体障害者1級相当の障害を有する場合は可）で、これまで一度も接種したことのない方
- **定期接種対象期間**：66歳の誕生日の前日まで

任意接種の場合はいくつかのワクチンの中から選択することができます。
ご希望の際は医師・看護師にお問い合わせください。

## 4 RSウイルス



RSウイルスは子供のころから何度も感染と発症を繰り返す呼吸器感染症ですが、高齢者や基礎疾患がある人では肺炎など症状が重くなることがあり、入院になるような肺炎になると **季節性インフルエンザよりも入院日数が長くなってしまう**とされています（約30日間）。**RSウイルスワクチンはすべて任意接種**ですが、60歳以上の方や50歳以上でも肺、心臓、肝臓、腎臓の持病がある方や糖尿病の方は肺炎を予防するために接種した方がよいとされています。
今のところ **1回の接種で少なくとも数年間は有効**であることが示されています。

## 5 帯状疱疹



昔かかって神経の中にずっと潜んでいた「水ぼうそう」のウイルスが、年を重ねて免疫力が低下すると再び目を覚ますことで発症する病気です。50歳を過ぎると発症率が上がることから、**厚生労働省**は**50歳以上の方の接種**を勧めています。2回接種が必要な「不活化ワクチン」と**1回接種**のみの「**生ワクチン**」があります。「不活化ワクチン」の約11.4年間の有効性は87.7%と、長い予防効果があります。「生ワクチン」の有効性は**約4年間**で51.3%とされています。また、仮に帯状疱疹を発症したとしてもその後の神経痛の症状が悪化しない効果もあるとされています。

- **定期接種対象者**：年度内65歳を迎える方
- **経過措置対象者**：年度内に70・75・80・85・90・95・100歳となる方（2029年度まで）

上記に該当しなくても、さいたま市にお住まいで、これまで一度も接種したことのない50歳以上の方はさいたま市独自の助成で接種することが可能です。

上記の定期接種対象者に該当しない場合は任意接種となり**全額自己負担**となるため、ぜひさいたま市の定期接種をご活用ください。また、さいたま市外にお住まいの方は、各自治体のホームページをご確認ください。

林田医院